

令和4(2022)年度ゴールデンウィーク期間における日光・那須地域の渋滞対策結果について

令和4(2022)年6月17日
 県土整備部交通政策課

日光地域

1 実施概要

(1) 実施期間

4月29日(金)～5月1日(日)、5月3日(火)～5日(木)の6日間

(2) 実施概要

- 1) 臨時駐車場の開設【実施主体：日光市、栃木県、国土交通省】
 - ・開設箇所：大谷川河川敷、日光土木事務所、日光砂防事務所
- 2) 迂回誘導【実施主体：日光市、栃木県、県道路公社】
- 3) SNS・ポスター・横断幕による情報提供
 【実施主体：日光市、栃木県、県道路公社】
- 4) 臨時駐車場・東照宮駐車場の利用者意見の収集【実施主体：栃木県】

2 結果

- 臨時駐車場の日平均利用台数は昨年度から倍増している。
- 昨年度と比べ、日光宇都宮道路の交通量は増加した。国道119号では神橋を先頭に最大約2.5kmの渋滞が発生し、東武日光駅から神橋までの通過時間は最大約90分であった。
- SNSや市HPでの情報発信は、アクセス数等が年々増加している。
- 利用者アンケートでは、臨時駐車場利用者の約80%以上がLED表示板や案内看板により臨時駐車場を把握しており、現地看板による迂回誘導の一定の効果が確認された。一方、東照宮駐車場利用者の一部は渋滞情報を収集しておらずLED表示板や横断幕も見えていなかったため、引き続き情報発信の強化が必要であることが確認された。

3 総括

- 臨時駐車場への迂回誘導が渋滞抑制に効果的であった。一方、臨時駐車場が満車となったことから臨時駐車場の規模を市と共に再検討する必要がある。
- SNSや市HPの認知度も高まり、周知についても有効性が認められた。
- 今後は、情報発信の内容やコロナ禍以前の交通量に回復した場合を見据えた臨時駐車場の運用方法を見直すなどにより更なる渋滞緩和を図っていく。

		R元(2019)年	R2(2020)年	R3(2021)年	R4(2022)年
日光宇都宮道路			(GW中最大5/1)		
全体日交通量(最大渋滞長日)		46,624台	12,504台	42,630台	44,299台
日光IC日交通量(最大渋滞長日)		11,081台	1,816台	8,417台	9,216台
臨時駐車場	延べ利用台数	6,609台	開設なし	860台	1,842台
	最多利用日・台数	5/3(金) 1,289台		5/3(月) 395台	5/4(水) 646台 (5/3・4満車)
	開設日数	8日間		4日間	6日間
	日当たり平均利用台数	826台/日		215台/日	433台/日
渋滞 国道119号	渋滞長最大日・延長 (今市方面→神橋)	5/1(水)～ 4(土) 約2.5km	—	5/3(月) 約2.1km	5/4(水) 約2.5km
	所要時間最大日・時間 (東武日光駅→神橋間)	5/2(木) 約150分	—	5/3(月) 約60分	5/4(水) 約90分
日光渋滞対策 ツイッター	フォロワー数 (参考値 R1 秋)	400人	450人 (参考値 R2 秋)	733人 (参考値 R3 秋)	853人 (R4. 5. 6 時点)
	インプレッション数 (見られた回数) 4/10～5/10	4.2万回	0.1万回	5.8万回	10.4万回
市HP	駐車場満空情報サイト アクセス数 (R4年度より実施)	—	—	—	2.2万回 (4/23～5/5)

那須地域

1 実施概要

(1) 実施期間

4月29日(金)～5月8日(日)の10日間

(2) 実施概要

1) 県道那須高原線(那須岳周辺)の路上駐車対策【実施主体：栃木県】

- ・路上駐車に起因する渋滞を抑制するため、路肩にカラーコーンを設置
- ・区間：峠の茶屋駐車場～大丸駐車場

2) ポスター・チラシ・SNSによる情報提供【実施主体：那須町、栃木県】

- ・高速道路のSA・PAにおけるポスター・チラシ(迂回ルート案内等)の掲示・配布【県】
- ・twitter(アカウント：那須高原渋滞情報)によるチラシ(迂回ルート案内等)の発信【町】

2 結果

5月4日(水)、5日(木)は、那須ロープウェイの利用者数は最大約3,700人(昨年同時期より3割増加)であり、入庫待ちの渋滞が発生した。それ以外の日では、天候の影響や利用者数が少なかったことから渋滞は発生しなかった。